

## 第三セクターの「経営改善計画」について

第三セクターの見直しにあたっては、見直し指針の中で、第三セクターの将来の方向性について判断した上で、経営改善計画もしくは統廃合等実施計画を策定し、毎年度、その進捗管理を行う。単年度収支及び剰余金がマイナスの第三セクターは、すべて「経営改善計画」作成の対象となる。

### ① 「経営改善計画」作成対象第三セクター

- 1) (株) 鳥海高原ユースパーク (ミルジーほか)  
⇒ **【債務超過・市短期貸付金 27,200 千円】**
- 2) (株) 大内町交流センター (大内道の駅ほか)  
⇒ **【民間貸付金 20,000 千円 (羽後信金)】**
- 3) (株) 黄桜の里 (東由利道の駅ほか)  
⇒ **【民間貸付金 30,000 千円 (羽後信金)・R4 追加借入 10,000 千円】**
- 4) (株) フォレストア鳥海 (フォレストア鳥海)  
⇒ **【民間貸付金 7,996 千円 (秋田銀行)】**
- 5) (株) 岩城 (岩城道の駅ほか) ⇒ **【指定管理終了により R5.3 清算】**

### ② 今後の取組

解散を決定した株式会社岩城を除く第三セクター4社から経営改善計画が別添の通り提出されている。今後の取組としては、令和4年度の決算資料等をもとに、令和5年度の上半期に、行政改革推進本部の検討委員会において、進捗状況の点検・評価を行う。

目標を概ね達成した場合は、新たな目標を定めさらなる改善を進めることとし、達成できなかった場合は、事業廃止の検討又は抜本的な経営改善を求める。

### 第三セクター各社の令和3年度決算状況

(単位：千円)

名称		株式会社 鳥海高原 ユースパーク	株式会社 岩城	株式会社 大内町交流 センター	株式会社 黄桜の里	にしめ物産 株式会社	株式会社 ほっといん 鳥海	株式会社 フォレスト 鳥海
R3 決算	資本金	60,000	100,000	86,400	96,000	30,000	30,000	50,000
	剰余金	▲ 61,720	▲ 103,948	▲ 78,021	▲ 93,681	22,822	11,157	▲ 40,880
	純資産	▲ 1,720	▲ 3,948	6,829	2,319	52,822	41,157	9,120
	当期 純利益	▲ 810	▲ 3,978	▲ 2,905	▲ 2,241	▲ 1,552	221	▲ 9,912
	売上高	71,480	172,627	149,130	97,182	89,711	41,881	217,648
	人件費	17,864	103,762	91,128	69,380	18,495	24,820	89,883
	市支出額	7,920	85,464	60,362	52,923	3,065	8,161	51,481
	指定 管理料	7,220	49,493	22,993	30,661	3,065	6,761	—
	コロナ 関連 補助金	700	16,471	37,369	22,262	—	1,400	31,381
	運営費 補助金	—	19,500	—	—	—	—	20,100
市貸付金	貸付残高 R4.3.31見込	27,200	21,000	—	—	—	—	—
	貸付内容 償還方法	短期貸付	長期貸付 5年償還	—	—	—	—	—
民間借入金				20,000	30,000	3,810		7,996
R2純利益		4,230	17,329	▲ 26,260	▲ 9,639	2,975	1,008	24,739
R1純利益		▲ 2,016	▲ 16,870	▲ 13,378	▲ 13,479	502	162	▲ 395
H30純利益		▲ 3,302	▲ 12,301	▲ 13,986	▲ 13,130	177	526	▲ 8,179
H29純利益		2,277	▲ 17,626	▲ 3,705	▲ 5,431	▲ 5,951	▲ 213	▲ 2,722
H28純利益		1,082	▲ 3,679	▲ 555	1,604	▲ 3,237	124	▲ 5,731

(指定管理料は税込)

※ 剰余金は、これまでの当期利益又は当期損失の累計額

※ 純資産がマイナスということは、資産よりも債務が多いということであり債務超過

※ 当期純利益がマイナスということは、単年度決算において赤字